

A会場 (K203) 第一日目 6月23日 (土)

- 10:00-10:25 **A01** 中井信介 (大谷大学真宗総合研究所)
生業活動の継続過程にみられる戸別レベルの多様度
—タイ北部におけるモンの豚飼養の事例
- 10:30-10:55 **A02** 田崎郁子 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
タイ国におけるカレンの生業と民族間関係の変容
—コミュニティ意識形成の過程から
- 11:00-11:25 **A03** 福浦一男 (京都大学大学院文学研究科グローバル COE 研究員)
集団儀礼の実践とアイデンティティの構築
—北タイ、チェンマイの母系出自集団と霊媒集団の事例より
- 11:30-11:55 **A04** 鈴木勝己 (早稲田大学人間科学学術院)
タイ・エイズホスピス寺院におけるケアの医療人類学研究
- 12:00-12:25 **A05** 加藤敦典 (東京大学)
ベトナムの女性組織による困窮者支援と対抗的公共圏としての「むら」の集団範疇

-
- 13:30-13:55 **A06** 浅井優一 (立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科)
誰が「ラトウ」を連れてきたのか
—フィジーにおける首長の即位儀礼と神話の再解釈実践
- 14:00-14:25 **A07** 山本真鳥 (法政大学経済学部)
南太平洋サモア独立国の首長制と民主主義
—普通投票選挙制導入後の 20 年
- 14:30-14:55 **A08** 柄木田康之 (宇都宮大学)
ターミナル・ケアの脱領域的公共圏
—ヤップ離島出身者のグアム・ポンペイ移民の事例から
- 15:00-15:25 **A09** 深田淳太郎 (一橋大学大学院社会学研究科)
ソロモン諸島西部～ブーゲンビル島～ラバウルの貝殻輸出入ネットワーク
—偶発的出来事としてのネットワークと偶発的出来事としてのその追跡
- 15:30-15:55 **A10** 山森靖人 (関西外国語大学短期大学部)
ウィチョール族社会における民芸品製作販売の変遷
- 16:00-16:25 **A11** 石高真吾 (大阪大学グローバルコラボレーションセンター)
東南アジア手工芸品マイクロインダストリー経営論
- 16:30-16:55 **A12** 北田綾 (早稲田大学文学研究科日本語日本文化)
南部ラオスチャンパサックの織物と女性
—チャンパサックにおける調査
- 17:00-17:25 **A13** 風戸真理 (神戸山手大学)
モンゴルにおけるフェルト製作の技術と社会的背景
—「母フェルト」をめぐる

B会場 (K209) 第一日目 6月23日 (土)

- 10:00-10:25 **B01** 福浦厚子 (滋賀大学)
慈善活動と社会基盤
—シンガポールの事例から
- 10:30-10:55 **B02** 上杉健志 (マギル大学)
市民権と生物学的ためらい
—ベトナム「枯葉剤被害者」の創造から
- 11:00-11:25 **B03** 林史樹 (神田外語大学外国語学部韓国語学科)
韓国における健康ブームの形成過程
—高麗人蔘をめぐる言説を中心に
- 11:30-11:55 **B04** 近藤宏 (立命館大学大学院先端総合学術研究科)
皮膚という表面
—パナマ東部先住民エンベラにおける動物・植物の利用から見る身体の諸相
- 12:00-12:25 **B05** 上杉妙子 (専修大学)
マーシャル・レイスの身体による境界作業と民軍関係
—英軍グルカ兵の徴募・人員管理政策と自主的通婚規制

-
- 13:30-13:55 **B06** 平井芽阿里 (京都大学)
村落祭祀の変容と知識継承
—本土在住の沖縄県出身者の事例
- 14:00-14:25 **B07** 玉城毅 (奈良県立大学)
沖縄・糸満漁民の足跡
—移住者の社会形成と不形成
- 14:30-14:55 **B08** 永吉守 (福岡工業大学)
日本国内移住におけるエスニシティ表象の現在
—三池におけるユンヌンチュの移住 100 周年をめぐって
- 15:00-15:25 **B09** 安井大輔 (京都大学大学院文学研究科)
人の移動プロセスにおける象徴としての食
—横浜市鶴見区のマルチエスニック地域の食文化
- 15:30-15:55 **B10** 加藤恵津子 (国際基督教大学)
“Do” から “Be” への海外移動
—カナダとオーストラリアの日本人の若者の「仕事」と「自分」をめぐる語り
- 16:00-16:25 **B11** 奥田若菜 (神田外語大学)
ブラジル路上市場における一方的贈与
—ねだり、邪視、物乞い
- 16:30-16:55 **B12** 岩間春芽 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
「貧しい私たち？」
—ネパール北西部農村における貧困言説というカテゴリー化とその対応

C会場 (K210) 第一日目 6月23日(土)

9:30-12:25 分科会 PCa 代表者：藤本透子 (国立民族学博物館)
社会主義をへた宗教の再構築
—地域社会の分断／再編と越境からのアプローチ

PCa0 趣旨説明

PCa1 藤本透子 (国立民族学博物館)

越境空間におけるイスラームの再構築

—カザフ村落社会の再編過程から

PCa2 島村一平 (滋賀県立大学)

感染するシャーマン

—現代モンゴルにおけるシャーマニズムの急激な活性化をめぐる考察

PCa3 小西賢吾 (日本学術振興会／京都大学地域研究統合情報センター)

宗教の再構築における指導者と地域社会再編の関係

—中国四川省のチベット社会におけるボン教を事例に

PCa4 小島敬裕 (京都大学地域研究統合情報センター)

中国雲南省徳宏州における仏教実践の断絶と再構築

PCa5 王柳蘭 (京都大学地域研究統合情報センター／日本学術振興会)

中国雲南系ムスリムの越境と宗教ネットワークの再構築

13:30-16:25 分科会 PCb 代表者：田所聖志 (東京大学医学系研究科)
人間と動物の境界についての人類学研究へ向けて
—霊長類学と文化人類学の視点から

PCb0 趣旨説明

PCb1 西江仁徳 (京都大学野生動物研究センター)

人間そっくり？

—チンパンジーの死をめぐるエピソードから

PCb2 田所聖志 (東京大学医学系研究科)

パプアニューギニア、テワードの狩猟と漁撈からみた人間と動物との境界

PCb3 花村俊吉 (京都大学大学院・理学研究科)

嵐山のニホンザル社会の理解を試みる私のエスノグラフィー —観察現場で

揺らぐ「人間／サル」「専門家／素人」の境界と人間が表象するサル社会の境界

PCb4 溝口大助 (東京外国語大学)

夢と予兆が示す境界性

—マリ共和国南部カディオロ県セヌフォにおける夢と予兆

PCb5 須田征志 (名古屋大学大学院)

モノに表象された自己と他者の境界性

コメンテータ：菅原和孝 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

16:30-16:55 C01 呉清恵 (大阪経済法科大学アジア研究所)
縄文土器の生命創造の世界観
—中部高原勝坂文化出土の顔面把手深鉢土器文様の歴史的比較構造分析を通して

17:00-17:25 C02 小林正史 (北陸学院大学)
東南アジア大陸部の伝統的土器作り技術の地域差を生み出した要因

D会場 (K211) 第一日目 6月23日 (土)

9:30- 12:25 分科会 PDa 代表者：道信良子 (札幌医科大学)
医学・医療系教育における文化人類学

PDa0 趣旨説明

PDa1 飯田淳子 (川崎医療福祉大学)

医療福祉系大学における文化人類学教育の課題と可能性

PDa2 錦織宏 (京都大学大学院医学教育推進センター)

医学教育が人類学に期待すること

PDa3 道信良子 (札幌医科大学)

地域基盤型の医学・医療系教育における省察と実践

PDa4 小田原悦子 (聖隷クリストファー大学)

日本の作業療法教育の動向と文化人類学への期待

PDa5 馬場雄司 (京都文教大学)

医療・福祉の原点を求めて

コメンテータ：星野晋 (山口大学大学院医学系研究科)

13:30- 16:25 分科会 PDb 代表者：高倉浩樹 (東北大学東北アジア研究センター)
展示による社会的関与は人類学に何をもたらすか
—日本・ロシア・北米の先住民調査研究の視座から

PDb0 趣旨説明

PDb1 山崎幸治 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター)

アイヌ文化展示と文化人類学的課題

PDb2 伊藤敦規 (国立民族学博物館)

協働展示実践が顕在化させる主客不可分状況について

—『ホピ・ズニ作家展』の経験から

PDb3 水谷裕佳 (東洋大学社会学部)

先住民と海外における博物館展示

—北米大陸のヤキに関する展示を事例として

PDb4 山口未花子 (東北大学東北アジア研究センター)

語りだす死体

—カナダ先住民の動物利用に関する展示を通じた成果の還元と研究上の意義

PDb5 高倉浩樹 (東北大学東北アジア研究センター)

協働でつくる編集過程

—民族誌写真と標本資料における断片性と本質性の新たな文脈化

コメンテータ：落合雪野 (鹿児島大学総合研究博物館)

16:30- 16:55 D01 波佐間逸博 (長崎大学)

武装解除される牧民の実践

—北東ウガンダにおける非人間化システムからの解放のために

17:00- 17:25 D02 田中正隆 (高千穂大学人間科学部)

ジャーナリストの生活戦略とデモクラシー

E会場 (K103) 第一日目 6月23日 (土)

- 10:00-10:25 **E01** 越智郁乃 (広島大学)
土地を「守る」こと
—現代沖縄における米軍接収土地返還後の開発とエージェンシー
- 10:30-10:55 **E02** 増田和也 (京都大学東南アジア研究所)
開発収用地をめぐる妥協と侵蝕
—インドネシア、スマトラ農村における土地慣行についての解釈の逆転
- 11:00-11:25 **E03** 堂下恵 (金沢星稜大学)
日本における市町村合併後の地域コミュニティとアイデンティティの変化
- 11:30-11:55 **E04** 中空萌 (東京大学大学院総合文化研究科)
「ポストコロニアリズム」を語る科学者たち
—インド・ウッタラーカンド州の「生物多様性登録」における人類学的知識の再帰性
- 12:00-12:25 **E05** 井上敏昭 (城西国際大学)
「社会問題の国際化」戦略を志向する先住民社会
—開発・環境・資源問題に対するアラスカ先住民の事例から

-
- 13:30-13:55 **E06** 喜多村百合 (筑紫女学園大学)
インド・ケーララ州の分権化と村落ガヴァナンスのジェンダー化
—ケーララ州 T 県 S パンチャーヤトを事例に
- 14:00-14:25 **E07** 石井美保 (京都大学)
「野生の聖」と環境ネットワークの創出
—南インドのブータ祭祀における神性の連関、ヒエラルキー、憑依
- 14:30-14:55 **E08** 田口陽子 (一橋大学大学院社会学研究科)
「汚れとの戦い (Fight the Filth)」
—インド、ムンバイにおける市民の美学
- 15:00-15:25 **E09** 加賀谷真梨 (お茶の水女子大学)
「戦争マラリア」の記憶に見透かせる共同性と「絶対矛盾的自己同一」
- 15:30-15:55 **E10** 西村一之 (日本女子大学)
台湾東部における抗日事件の記憶と歴史
—ノスタルジー・民族意識・観光
- 16:00-16:25 **E11** 小池郁子 (京都大学人文科学研究所)
アフリカ系アメリカ人の負の歴史とオリシャ崇拜運動
—奴隷という「経験」
- 16:30-16:55 **E12** 大田千波留 (九州大学大学院人間環境学府)
「毛沢東」という記憶

F会場 (K109) 第一日目 6月23日 (土)

- 10:00-10:25 **F01** 本田洋 (東京大学大学院人文社会系研究科)
 婦農者の生き方と代案的共同性
 ー韓国智異山麓山内地域への初期移住者を中心に
- 10:30-10:55 **F02** 大戸朋子 (北陸先端科学技術大学院大学)・伊藤泰信 (北陸先端科学技術大学院大学)
 同一嗜好の女子コミュニティにおける序列と二次創作活動の評価をめぐって
- 11:00-11:25 **F03** 山本直美 (国立民族学博物館)
 「もうひとつの生き方」ー燈園における共同性と人間観
- 11:30-11:55 **F04** 萩原卓也 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
 痛みの経験から生まれる身体的共同性
 ー女子プロレスラーの事例から
- 12:00-12:25 **F05** 碓陽子 (東京大学大学院総合文化研究科)
 カテゴリーとコミュニケーションにおける固有の自己
 ーファット・アクセプタンス運動に参画する人々を事例として
-
- 13:30-13:55 **F06** 山本芳美 (都留文科大学)
 「紋面民族」
 ー台湾原住民族タイヤル、タロコ、セデックの「民族認定」その後とイレズミ
- 14:00-14:25 **F07** 兼重努 (滋賀医科大学)
 多民族国家における地域主義と民族主義
- 14:30-14:55 **F08** 長沼さやか (日本学術振興会・東京外国語大学)
 中国南部の少数民族社会における水上居民のエスニシティ
 ー「周縁」対「周縁」のモデルから
- 15:00-15:25 **F09** 金龍哲 (神奈川県立保健福祉大学)
 文化伝承の視点から見た中国西南少数民族の成年儀礼
 ー消え去ったジノ一族の成人式を中心に
- 15:30-15:55 **F10** 佐藤若菜 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
 服飾製作と民族間関係の変容
 ーエスニック観光のもとで
- 16:00-16:25 **F11** 長谷千代子 (九州大学比較社会文化研究院)
 雲南省徳宏州における「宗教文化」と宗教実践
- 16:30-16:55 **F12** 奈良雅史 (筑波大学大学院人文社会科学研究科)
 「回族であること」と「ムスリムであること」
 ー中国雲南省昆明市の事例から

9:30- 12:25 分科会 PGa 代表者：長谷川悟郎 (桜美林大学)
熱帯林と社会—サラワク民族誌研究の可能性

PGa0 趣旨説明

PGa1 加藤裕美 (総合地球環境学研究所)

シハンにみる人と自然の関係のダイナミズム
—マイノリティの視点からの一考察

PGa2 佐久間香子 (京都大学大学院)

資源利用からみる森と人の関係誌
—ブラワンによるツバメの巣の利用を事例に

PGa3 市川哲 (立教大学)

森林産物と民族関係
—先住民との関係を通じたサラワク華人にとっての熱帯雨林

PGa4 長谷川悟郎 (桜美林大学)

森林開拓をめぐる護符信仰の重要性
—イバン・エクспанション再考

PGa5 奥野克巳 (桜美林大学)

森との交感の民族誌 —プナンにおける人と自然

コメンテータ：石川登 (京都大学東南アジア研究所)

13:30-16:25 分科会 PGb 代表者：吉本康子 (国立民族学博物館)、阿良田麻里子 (東京工業大学)
映像資料にみるイスラーム的宗教実践
—地域間比較研究における「家族的類似」概念の可能性をめぐって

PGb0 趣旨説明

PGb1 吉本康子 (国立民族学博物館)

「公定のムスリム」とイスラーム的宗教実践
—ベトナム中南部チャム・バニの社会における「クルアーン」朗誦

PGb2 阿良田麻里子 (東京工業大学)

霊宝の沐浴—インドネシア・西ジャワ農村のムハンマド生誕祭と祖霊祭祀

PGb3 今中崇文 (総合研究大学院大学文化科学研究科地域文化学専攻)

混淆する「伝統」と「正統」—中国・西安市のムハンマド生誕祭

PGb4 菅瀬晶子 (国立民族学博物館)

聖なるものの共有と占有
—東地中海地域アラビア語圏における聖者アル・ハディル崇敬の事例より

PGb5 黒田賢治 (京都大学)

「正当」化される地域的宗教実践
—現代12イマーム・シーア派における宗教界をめぐって

コメンテータ：白川琢磨 (福岡大学)

16:30-16:55 G01 川瀬由高 (首都大学東京大学院)

1939年の機能主義

—費孝通におけるホリズムとコミュニティ

17:00-17:25 G02 森下翔 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

地球物理学の現象学的民族誌にむけて

—合理性とは別の仕方

9:30-12:25 分科会 PHa 代表者：菅原和孝 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
身体化された心の人類学的解明—言語・記憶・認知・社会

PHa0 趣旨説明

PHa1 菅原和孝 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

過去の出来事への身体の投入

—ゲイの身ぶり論序説

PHa2 青木恵理子 (龍谷大学社会学部)

声の汚染、体内の媒介

—フローレスにおける身体と心と言葉

PHa3 大村敬一 (大阪大学)

交合する身体

—心的表象なき記憶とことばのメカニズム

PHa4 木村大治 (京都大学)、亀井伸孝 (愛知県立大学)、森田真生 (独立研究者)

数学における身体性

PHa5 松嶋健 (京都大学人文科学研究所)

「心の病い」から「心のエコロジー」へ

—イタリヤの精神保健実践からみる「テリトリー化された心」の様相

コメンテータ：高木光太郎 (青山学院大学)

13:30-16:25 分科会 PHb 代表者：林勲男 (国立民族学博物館)
復興・教育・地域社会—3.11と人類学 (1)

PHb0 趣旨説明

PHb1 竹沢尚一郎 (国立民族学博物館)

東日本大震災と人類学

—人類学は被災社会に対してなにができるのか

PHb2 李仁子 (東北大学)

3.11 大津波と供養

PHb3 内尾太一 (東京大学大学院総合文化研究科、NPO 法人「人間の安全保障」フォーラム)

東日本大震災と被災者の尊厳に関する公共人類学的研究

—宮城県の仮設住宅における教育支援の実践現場から

PHb4 川口幸大 (東北大学)

人類学の授業において震災に関連したフィールドワークを行うこと／それを

指導すること —東北大学文化人類学専修の取り組みを事例として

コメンテータ：木村周平 (富士常葉大学)、柄谷友香 (名城大学)

16:00-16:25 H01 原英子 (岩手県立大学盛岡短期大学部)

人々はイタコに何を期待しているのか？

16:30-16:55 H02 金セツピョル (総合研究大学院大学)

生きられた現実の中の自然葬

—専業主婦たちの結婚に関する語りを中心に

17:00-17:25 H03 高橋絵里香 (日本学術振興会)

家族／共同体における贈与・交換・共有

—「ムーミン」から読む北欧の社会思想

I 会場 (K107) 第一日目 6月23日(土)

9:30- 12:25 分科会 PIa 代表者：田中雅一（京都大学人文科学研究所）
客をしっかりとつける女たち—水商売・セックスワーク・感情労働

PIa0 趣旨説明

PIa1 松田さおり（宇都宮共和大学）
感情労働の「他律性」と「自律性」
—ホステスの「色で売る」と「いい人間関係」の比較から

PIa2 中岡志保（広島大学大学院）
「芸者の売り」の選択可能性と芸者アイデンティティ

PIa3 中田梓音（総合研究大学院大学）
スナックのママと顧客
—脱性化という戦略を巡って

PIa4 田中雅一（京都大学人文科学研究所）
セックスワーカーが叱りつけるとき
—感情労働の視点から

PIa5 徐玉子（京都大学人間・環境学研究所）
感情の剥き出しが織りなす関係性
—在韓米軍基地村の米兵相手のフィリピン女性「エンターテイナー」の場合

コメンテータ：市野沢潤平（宮城学院女子大学）、高橋絵里香（日本学術振興会）

13:30-16:25 分科会 PIb 代表者：鈴木紀（国立民族学博物館）
グローバル支援の人類学—支援研究から人類学的支援へ

PIb0 趣旨説明

PIb1 岸上伸啓（国立民族学博物館）
カナダにおける都市先住民イヌイトをめぐる支援活動

PIb2 関根久雄（筑波大学）
人類学的評価という協働
—ある「支援」の試み

PIb3 白川千尋（国立民族学博物館）
青年海外協力隊をめぐる支援活動

PIb4 鈴木紀（国立民族学博物館）
フェアトレードの「支援の言説」と人類学的支援

PIb5 陳天璽（国立民族学博物館）
日本における無国籍者をめぐる支援活動

コメンテータ：清水展（京都大学）、亀井伸孝（愛知県立大学）

16:30-16:55 I01 飯嶋秀治（九州大学大学院）
臨床人類学
—臨床心理学と文化人類学の間にかかれるフィールド

17:00-17:25 I02 岩佐光広（高知大学人文学部）
倫理／道徳の人類学的研究に向けて

A会場 (K203) 第二日目 6月24日 (日)

- 9:00-9:25 **A14** 関健次郎 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
マダガスカル島中央高地におけるクーバの製造と販売に関する人類学的研究
- 9:30-9:55 **A15** 四本幸夫 (立命館アジア太平洋大学)
変化するフィリピンの農村
—フィリピンの観光地化を目指すイフガオ族のナガカダン村を事例として
- 10:00-10:25 **A16** 西本太 (総合地球環境学研究所)
人口復元を通して見たラオス農村
- 10:30-10:55 **A17** 梅村絢美 (首都大学東京)
発話の力、呪文の響き
- 11:00-11:25 **A18** 足立賢二 (宝塚医療大学)
治療費負担が民族医療実践の特徴形成に及ぼす影響
—南インド・Andhra Pradesh 州 Adilabad でのはり・きゅう療法の分析から
-
-

12:30-14:50 総 会 ・学会賞受賞者講演 (L102)

- 15:00-15:25 **A19** 大門碧 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
アフリカ現代都市のステージに実際に立ってみる
—大衆芸能を参与観察する可能性
- 15:30-15:55 **A20** 飯野りさ (東京大学)
アラブ古典音楽における旋法名称の記号論的解釈
—音楽学的説明から文化内在的なシステムへ
- 16:00-16:25 **A21** 林美鈴 (一橋大学大学院)
音楽のグローバリゼーション再考に向けて
—ポスト社会主義ルーマニアにおけるジプシー音楽の変容と生成
- 16:30-16:55 **A22** 中谷和人 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
芸術作品が切り開く諸関係
—デンマークの障害者美術学校の事例から

B会場 (K209) 第二日目 6月24日 (日)

- 9:00-9:25 **B13 松尾瑞穂** (新潟国際情報大学)
インドにおける代理母のネットワーク形成
—「組織型」と「非組織型」代理出産の比較検討
- 9:30-9:55 **B14 江原等子** (京都大学大学院人間・環境学研究科)
闘を生きる
—南インド、タミル・ナードゥ州チェンナイの第三ジェンダーの人々を中心に
- 10:00-10:25 **B15 上村淳志** (日本文化人類学会会員)
聖域における性的なモノや振る舞い
—メキシコのある性的少数者の教会の例
- 10:30-10:55 **B16 松田有紀子** (立命館大学大学院先端総合学術研究科)
「女の街」を生きぬく
—京都花街におけるお茶屋の「商売感覚」に着目して
- 11:00-11:25 **B17 新本万里子** (広島大学大学院総合科学研究科)
「女が肩から網袋を提げる」ということ
—パプアニューギニア焼畑民アベラムのジェンダーの動態
-
-

12:30-14:50 総 会 ・ 学会賞受賞者講演 (L102)

- 15:00-15:25 **B18 清水拓野** (神戸女学院大学)
中国伝統演劇の教授・学習過程の教育人類学的研究
—秦腔演劇学校の“口伝心授”実践に注目して
- 15:30-15:55 **B19 兼城糸絵** (東北大学大学院)
富の表現としての葬送儀礼
—中国福建省のある移民母村の事例から
- 16:00-16:25 **B20 田村和彦** (福岡大学)
葬儀を具現化する人々(2)
—中国内陸部殯儀館における火葬職員の仕事を事例として
- 16:30-16:55 **B21 小林宏至** (首都大学東京)
「社会的住所 (Social Address)」としての宗族
—中国客家社会において、呼びかけ呼びかけられること、記録し読み解くこと

C会場 (K210) 第二日目 6月24日(日)

- 9:30-9:55 **C04 四條真也** (首都大学東京大学院)
先住ハワイ人の血の系譜をめぐって
—オアフ島ワイアナエ地区のハワイアン・ホームステッドにみる親族の意識
- 10:00-10:25 **C05 山内由理子** (マックォーリー大学)
「アボリジニ」であるために
—都市部郊外のオーストラリア先住民と二つの「先住民性」モデル
- 10:30-10:55 **C06 栗田梨津子** (広島大学大学院)
オーストラリア都市先住民の土地権運動におけるアイデンティティの交渉
—アデレードのラテラリー・グランヴィル土地権運動を事例として
- 11:00-11:25 **C07 小林誠** (首都大学東京大学院)
ポリネシア・ツバルにおける「文化を書く」ことの意味
—「文化のハンドブック」作成プロジェクトを事例に
-
-

12:30-14:50 総会・学会賞受賞者講演 (L102)

- 15:00-15:25 **C08 前田建一郎** (一橋大学社会学研究科)
ハンソン論文を再考する
—マオリの書記ファタホロが果たした役割について
- 15:30-15:55 **C09 諏訪淳一郎** (弘前大学)
ローカル・コモンズとしてのメラネシアポップ
- 16:00-16:25 **C10 里見龍樹** (東京大学大学院総合文化研究科)
<社会運動>の想起と記述
—メラネシア、ソロモン諸島マライタ島における反植民地運動マーシナ・ルールとその現在

D会場 (K211) 第二日目 6月24日(日)

9:00- 11:25 分科会 PDc 代表者：浮ヶ谷幸代 (相模女子大学)
界面に立つ専門家—サファリングとケアの人類学

PDc0 趣旨説明

PDc1 沖田一彦 (県立広島大学)

専門家のゆらぎ

—医療の変容にともなう立ち位置の変化について

PDc2 松繁卓哉 (国立保健医療学院)

地域包括ケアの多職種連携における分担/分断

PDc3 田中大介 (東京造形大学)

ケア実践における職業的エクスペリエンスの諸相

—現代日本における葬儀業の活動展開を事例として

PDc4 星野晋 (山口大学大学院医学系研究科)

臨床実践の二つの界面

—日本の医学教育改革の現場にあって

コメンテータ：近藤英俊 (関西外国語大学)、宮口英樹 (広島大学)

12:30-14:50 総会・学会賞受賞者講演 (L102)

15:00-15:25 D03 池田光穂 (大阪大学)

医療現場での医療通訳者の「文化の翻訳」の位相について

15:30-15:55 D04 島菌洋介 (金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学)

翻訳・通訳不可能な交換

—フィリピンの有償腎提供にかんする人類学的考察

16:00-16:25 D05 松岡秀明 (淑徳大学)

「やすらかな死」

—緩和ケア病棟で鎮静はどのように行なわれているか

E会場 (K103) 第二日目 6月24日 (日)

- 9:00-9:25 **E13** 吉本裕子 (横浜市立大学大学院都市社会文化研究科)
展示される側の「主体性」の所在
—平取町立二風谷アイヌ文化博物館を事例として
- 9:30-9:55 **E14** 山田亨 (コーネル大学)
世界遺産という法的翻訳作業
—長崎県の世界遺産登録プロジェクトにおける法と文化の多層性
- 10:00-10:25 **E15** 岡田真弓 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター)
国立公園制度を通じたナショナル・ヘリテージの創出
—イスラエルにおける考古遺跡の遺産化
- 10:30-10:55 **E16** 金子正徳 (国立民族学博物館)
ライフヒストリと生活用品にみる「モダン」
—インドネシア・ランブン州の事例から
- 11:00-11:25 **E17** 久志本裕子 (日本学術振興会)
変容するイスラームの学びの文化
—マレーシア・ムスリム社会における人類学的考察
-
- 12:30-14:50 総会・学会賞受賞者講演 (L102)
- 15:00-15:25 **E18** 渡部瑞希 (一橋大学社会学研究科)
文化人類学者という存在とその記述
—カトマンズの観光市場、タメルにおけるフィールドワークの記述を事例に
- 15:30-15:55 **E19** 田中孝枝 (東京大学大学院総合文化研究科)
訪日観光ツアー商品の「価値」構成
—在中国日系旅行社と現地旅行社の提携による富裕層向け商品開発を事例として
- 16:00-16:25 **E20** 大野哲也 (京都大学)
「危険」を消費する
—アジアを旅する日本人バックパッカーの経験から
- 16:30-16:55 **E21** 市野澤潤平 (宮城学院女子大学)
マスツーリズムと「エコツーリズム」

F会場 (K109) 第二日目 6月24日(日)

- 9:00-9:25 **F13** 真崎克彦 (清泉女子大学)
「ブータンらしい民主化」観の陥穽
—生活者の観点より考える
- 9:30-9:55 **F14** 宮本万里 (国立民族学博物館)
現代ブータンにおける制度と民主化をめぐる政治人類学的研究
—偏在する国家についての一考察
- 10:00-10:25 **F15** 中屋敷千尋 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
北インド・チベット系社会における選挙の人類学的研究
—村落自治体の選挙を事例に
- 10:30-10:55 **F16** 伊東未来 (大阪大学大学院人間科学研究科)
「近代化」に追いやられる哀れなジン
—マリ共和国ジェンネのイスラーム精霊信仰の変遷
- 11:00-11:25 **F17** 大石高典 (京都大学アフリカ地域研究資料センター)
カメルーン東南部の狩猟採集民バカにおける社会文化変容
—経済的不平等の発生と呪術/邪術に関わる言説空間の変化
-
-

12:30-14:50 総会・学会賞受賞者講演 (L102)

- 15:00-15:25 **F18** 杉本敦 (東北大学大学院文学研究科)
ルーマニアにおける「伝統的」牧畜生活の変容と持続
—トランシルヴァニアの山村を事例として
- 15:30-15:55 **F19** 富田敬大 (立命館大学衣笠総合研究機構)
モンゴルの都市周辺地域における家畜預託と体制転換
- 16:00-16:25 **F20** 辛嶋博善 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
大人になる少年牧夫
—ポスト社会主義期モンゴル国牧畜社会の事例
- 16:30-16:55 **F21** 佃麻美 (京都大学大学院人間・環境学研究科、日本学術振興会特別研究員)
中央アンデス高地における南米ラクダ科牧畜の現在
—生体取引を主とするアルパカ飼いを事例に

G会場 (K110) 第二日目 6月24日(日)

9:00- 11:25 分科会 PGc **代表者：嶋田義仁 (名古屋大学文学研究科)**
アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明－政治・宗教、砂漠化、家畜生産

PGc0 趣旨説明

PGc1 嶋田義仁 (名古屋大学文学研究科)

アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論とイスラーム文明

PGc2 平田昌弘 (帯広畜産大学)

アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究における乳文化

PGc3 楊海英 (静岡大学)

早すぎた「文明の衝突」？

－社会主義者ウラーンフーの牧畜政策と中国との相克

PGc4 児玉香菜子 (千葉大学文学部)

環境政策からみた中国の牧畜理解

コメンテータ：今村薫 (名古屋学院大学)

12:30-14:50 総 会 ・学会賞受賞者講演 (L102)

15:00-15:25 **G03 中川理 (大阪大学グローバルコラボレーションセンター)**
市場の文化と<遅れ>

－フランスの青果市場の事例

15:30-15:55 **G04 神原ゆうこ (北九州市立大学)**

地域社会のなかにおける公共性を問うことの人類的的可能性

－スロヴァキア村落における地域振興の試みを事例として

16:00-16:25 **G05 森明子 (国立民族学博物館)**

ベルリンのキンダーラーデン運動について

－1980年代から21世紀初頭へ

16:30-16:55 **G06 原知章 (静岡大学人文社会科学部)**

アメリカ・ハワイ州における人種・民族関係の現在

H会場 (K108) 第二日目 6月24日(日)

9:00- 11:25 分科会 PHc 代表者：木村周平 (富士常葉大学)
震災とつながりの人類学—3.11 と人類学 (2)

PHc0 趣旨説明

PHc1 猪瀬浩平 (明治学院大学)

ポスト・フクシマ、その世界の成り立ち
—対放射能農法の組織化をめぐる人類学的考察

PHc2 山下晋司 (東京大学)

3.11 と観光
—リスク社会の中で

PHc3 清水展 (京都大学東南アジア研究所)

災害、先住民の誕生、文化人類学の再想像=創造?
—ピナトゥボ山大噴火 (1991) 後のアエタ被災者と私自身の経験から

PHc4 木村周平 (富士常葉大学)

可視化される関係性
—津波後の高台移転プロジェクトをめぐって

コメンテータ：速水洋子 (京都大学東南アジア研究所)、林勲男 (国立民族学博物館)

12:30-14:50 総会 ・学会賞受賞者講演 (L102)

ポスター発表

K棟入口ホール 第二日目 6月24日(日)

- 9:00-16:30 **POS1** 増野高司 (国立民族学博物館・外来研究員)
タイ北部のミエン族山村における村外居住の実態把握に向けて
- 11:30-12:25 質疑応答

映像作品上映

J会場 (L201) 第二日目 6月24日(日)

- 10:00-10:30 伊藤悟 (国立民族学博物館)
徳宏タイ族の送魂儀礼ソンコーカオにおけるシャーマンの「うた」
一音の民族誌映像
- 10:40-11:25 田沼幸子 (大阪大学)
かえりみれば—Cuba Sentimental、旅の記録

12:30-14:50 総会・講演会 (L102)

15:00-16:00 分藤大翼 (信州大学)
jo joko

16:10-16:30 金セツピョル (総合研究大学院大学)
樹木葬—生態系の中の死